

# 一球通信 vol.154

\*\*\*\*\*コンテンツ\*\*\*\*\*

1. 春季オープン戦日程
2. 広商OBとの交流（広商野球クラブ京浜支部懇親会に参加）（S51 佐治様）
3. 広商交流 50 周年に寄せて

〔1〕プレーバック交流史

（1）坂本雅昭様 （S56 卒）

（2）山坂哲郎様 （S47 卒）

\*\*\*\*\*

## 1. 春季オープン戦日程

2月から3月にかけての春季オープン戦日程が決定致しましたので、ご報告させていただきます。

2月29日(土)10:30～ vs 東京外国語大  
3月4日(水)10:30～ vs 横浜市立大学  
3月10日(火) 13:30～ vs 横浜国立大学  
3月11日(水)10:30～ vs 成蹊大  
3月15日(日)10:30～ vs 学習院大  
3月16日(月)10:30～ vs 学芸大  
3月20日(金)10:30～ vs 東京大学  
3月24日(火)10:30～ vs 明治大  
3月28日(土)10:30～ vs 高千穂大  
3月29日(日)10:30～ vs 相模原クラブ

※3月10日は一橋大学前期合格発表のため、午後に試合開始となっております。

天候等により試合時間に変更になる場合がございます。詳細は[硬式野球部ホームページ](#)をご参照ください。

ぜひグラウンドまで足を運んで頂けると幸いです。

## 広商OBとの交流（広商野球クラブ京浜支部懇親会に参加）

S51 佐治（記）

恒例の広商野球クラブ京浜支部懇親会（2020年2月1日（土）ホテルグランドヒル市ヶ谷）に招かれ、今井会長はじめOB11名と、栗監督、笠松副主将・高崎主務の3名で総勢14名が参加し、広商OB諸氏と交流を深めた。

まず、広商野球クラブ京浜支部、田所支部長から、広商としては、一橋野球部との文武にわたる交流を大切に考えており、来年交流50周年を迎えるにあたり（注）広島で式典などの交流イベントを企画する予定との挨拶があった。

（注）広商一橋の交流の始まりについては2つの理解あり。一つは広商の畠山先生がS45卒の稲垣主将時代に初めて一橋の野球部を指導した1968年、もう一つは一橋のS48卒、今井当時主将が初めて広島でS47卒の浜田選手宅にホームステイをするなど組織同士の交流が本格化した1971年である。

続いて、今井一球会会長から、平素の広商側からのご懇意に対して、特に年末の広島遠征で赤澤野球部長にご指導いただいたこと、またシーズン中の濱田さん、高柿さんを始めとする広商OBからの懇切な指導や応援に謝意の表明があり、両校の特性がうまくかみ合うような交流が続いていくよう今後も工夫していきたいとの発言があった。

また、浜中広商野球クラブ会長からは、昨年久しぶりに甲子園に駒を進めたものの1回戦で負けてしまい残念であった。今年は新入生の時から期待していた強いチームでもあり、再び甲子園大会に出場したいとの挨拶があった。

そのあと一橋側からは栗監督、S51 佐治、S56 坂本さんからそれぞれスピーチがあった。最後は一橋の笠松副主将・高崎主務が紹介された。笠松副主将からは広商合宿で学んだことが大変多かったこと、それを生かして春のリーグ戦での4部優勝、3部昇格を目指したいとの力強い表明があり、お開きとなった。

### 【広商出席者 29名（数字は広商卒業年、敬称略）】

S34 曾根弘信、S36 横山麗吉、S38 伊勢本金四郎、S40 内田俊雄、S43 尾川節男、S47 古賀正、濱田規久二、山下兼正、S48 原田薫、S49 大城登、田所康弘（広商野球クラブ京浜支部長）、S50 浜中清次（広商野球クラブ会長）、S56 山下哲司、S57 樽井靖雄、西田弘、S61 大原央、H3 高柿健、H8 桜木理、H12 赤澤雄佑（広商野球部長）、H19 吉原純平、H20 平井良和、H23 安本英正、大学生 中村光希、国只篤、河上俊、吉田博登、水澤天、砂原大地、吉永仁

【一橋出席者 14名（数字は卒業年、敬称略）】

S35 久木田義雄、 S39 佐藤堅一、 S45 稲垣博正、S46 町田英一、S48 今井鉄郎、S48 原岡賢一郎、S51 飯島富士夫、佐治誠、S52 伴野誠、S54 新悟 S56 坂本雅昭  
3年生 粟圭史郎、笠松慎、2年生 高崎修

発言する今井会長



（左から）発言する田所広商野球クラブ京浜支部長、浜中広商野球クラブ会長



以上

## 【プレイバック交流史・一橋坂本さん広商野球部 100 年史寄稿】

### 「7回の広島訪問」

坂本 雅昭

(昭和56年一橋大学経済学部卒 神奈川県桐蔭高出身) 日本興業銀行勤務。広商野球部：畠山部長、桑原監督、永田主将 (7回訪広島)



昭和48年、夏の甲子園で広商が全国制覇した当時から一橋大学硬式野球部との交流は知っていた。私が我が野球部に入部したのも野球の技術、理論はもちろんのこと人間形成につながる教訓を広商の精神野球から学べるのが大きな要因だった。初めての夏合宿では

広商の紅白戦で現広島カープ守備走塁コーチ永田君が左翼へ本塁打を放ったのが強烈な印象として脳に残っている。その冬には三年生の大前外野手のお宅でお世話になった。裸足でのノックから始まる放課後の練習では畠山先生、桑原監督や現役の選手に基本の基本から懇切丁寧に指導していただいた。練習終了後、広商の一年生の半数を対象に私が臨時講師となって英語のリーダーの予習のお手伝いをした。昭和54年夏の甲子園に出場する前述の永田君、小柄ながらも野球センス抜群の南崎君らがおり、また何故か隣の

クラスから特別参加する勝負強いバッティングの正伝君らを中心に笑いの絶えない勉強会が行なわれ、そして帰宅後は大前君の受験勉強のお手伝いが深夜まで続くという三週間であった。二年の冬はダイヤモンドホテル、三年の冬は投手の梶岡君宅でお世話になるなど卒業するまで夏冬計7回もお邪魔した。東京においても法大に進学した伊藤君、片岡君、上原君、津江本君、浪人中で我が野球部の練習に参加していた後藤君、隅川君、山本君らが拙宅に遊びに来てくれた。卒業後も南崎君、正伝君の結婚式にご招待いただき、私の結婚式にも畠山先生、南崎君、正伝君、当時のマネージャー東久保君にもご出席いただくなど大変お世話になっている。他にも武相高校の古賀先生、木更津中央高校の山岡先生、いすゞ自動車の川崎君ら卒業生の方々とお会いする機会があり、また広商の東京方面への遠征も楽しみにしている。ピンチを気力でしのぎ僅少差で勝つ広商野球は私の生き方の手本でもある。長年に亘るご厚誼に感謝するとともに、広商のますますのご発展をお祈りしたい。

(坂本 記)

(参考 一橋大学硬式野球部同期主将村山 主務村松)

## 【プレイバック交流史・広商山坂さん一橋野球部75年史寄稿】

### 一橋大学野球部との交流よ永遠に

昭和四十七年広島商業高校野球部主将  
昭和五十二年広島大学教育学部卒業  
現在 (株) パルコムヒロシマモーターズ 代表取締役 山坂 哲郎

私と一橋大学野球部との出会いは、二年生の冬のことです。当時一橋大学野球部主将である今井鉄郎さんが、広島に來られたときである。

今井さんは、昼は広商のグラウンドで広商の野球を学ばれ、夜は当時早稲田大学への進学を目指す三年生の浜田さんの受験勉強を指導されていた。今井さんの練習ぶりを見て、「これが大学生か？一橋大学野球部って、たいした事ないな。」と思った。でも、その時の今井さんの練習に取り組まれる姿勢はすごかった。捕手の練習をされていたが、どのような練習にもとても一生懸命で、今でもその時の今井さんの白いユニフォームに赤のアンダーシャツが私の目に浮かんでくる。たまたま、字は違いますが名前が同じ「てつろう」というのも、今井さんを忘れられない原因かもしれない。広商百年誌に寄稿されていた今井さんの写真はちよびり年を取られていたが、当時を思い出せた。私も一年後には大学進学を希望していた。今井さんが我々二年生にも、大学受験するのであれば、この問題集がいいよ、と言って、源仙作著の英文法標準問題精講を勧められた。私はすぐその問題集を買って勉強しようと思ったが、自分が勉強している間に、他の野球部員は、今バットを振っているかもしれない、ランニングしているかもしれない、と思うと、つい野球の練習を優先してしまった。一つには勉強する習慣がなかったせいかもしれないが、その後、翌年の夏の県大会で、広陵高校に負けるまでは、受験勉強はおろか、勉強と名のつくものは全くすることがなかった。私は八月一日から受験勉強を始

めたが、すぐに東京で国語の教師をしている叔母の家に居候をした。国語は叔母に、政治経済は叔母の親友のご主人で高校の政治経済の先生に、そして英語は、その弟さんで上智大学を卒業後、留学をされて帰国されたばかりの方に家庭教師をしていただいた。当然英語を中心に勉強したわけだが、この時、以前今井さんから勧められて買っていた源仙作著の英文法標準問題精講がやっと目の目を見ることになった。とにかくこの時まで長時間勉強する習慣がなかったので、勉強する事に慣れる事が大変であった。また受験まで限られた時間(五ヶ月間)しかなかったもので、とてもあせった。一日二十四時間の内眠っているか、風呂に入っているか、食事しているか、トイレに行っている以外は、とにかく勉強をした。あまりにも高校に入学して二年半の間、野球ばかりして勉強をしていなかったため、不安でいっぱいであった。一ヶ月が過ぎ広島に帰った頃には、野球しかできなかった身体が、ようやく勉強をする身体に変身しているのを目撃できた。学校の授業中もとにかく勉強をした。英語の問題集もあれこれ手をつけたが、結局今井さんご推薦の源仙作著の英文法標準問題精講を三回、長文読解の標準問題精講を一回、英作の標準問題精講を三分の二勉強した。また、今井さんが広商野球部百年誌にも書かれていたが、社会は勉強した人と勉強をしていない人があまり差のつかない政治経済を選択した。これは、今井さんの指導を受けた浜田さんからの助言で決めた。広島に帰ってからの私は、知人の紹介で、広島大学文学部英文科の大学院生に英語のみ家庭教師の指導を受けた。冬になってその年も、一橋大学の方が広島に來られた。私の家には、見目さんという方が來られ、昨年の今井さんのように、昼は広商で野球を学び、夜は私の家庭教師をしていただいた。見目さんの印象は、広商での野球の練習がおわって帰ってこられた時、いつもぐったりさされていたなというものだった。広商の練習がよほどきついのだなと思った。このような協力もあって、私は、広商野球部創設以来初めて、広島大学に入学することができた。

その後一橋大学野球部の方々との交流は、とだえていたが、平成十年一月二十三日に東京のグラントヒル市ヶ谷で行われた「一橋大・広商両校野球部交流三十年記念の懇親会」に広商野球クラブの副会長として参加した一橋大学野球部

関係者の方々と久々の交流をし、また、学生時代同級生の斎藤（早稲田大学進学）が家庭教師をしていたいただいた原岡さんともお会いできて、とてもなつかしくこのコンペは嬉しかった。翌日は千葉でゴルフコンペを行ったが、一橋大学野球部OBの町田さんと一緒に、とても楽しくゴルフをすることができた。

私は今、広島でBMWのディーラーを経営しているが、ある時我社の管理本部長から三菱信託の広島支店長で、一橋大学OBの方が私に会いたいと言われていると聞いた。その方が、新田さんである。また何の縁か名前が私と同じ「てつろう」である新田さんは、漢字まで同じ哲郎であった。そして毎年広島で一橋大学野球部OBの方が集まり、島山先生を囲む会を開いているそうで、是非私にも参加をと言っていた。全国から集まった一橋大学野球部OBの方々（山口さん、中下さん、後藤さん、小川さん、新田さん、大岸さん）と楽しい時を過ごすことができた。その後、我社の社員コンペに新田さんをご招待し、私と小野路組みでスタートする時、銀行からの電話で、東京への栄転が伝えられた。ご栄転後、仕事のお願いで三菱信託銀行本店に新田さんを訪ねたが、ちょうどその時の夕方、一橋大学野球部OBで両国国技館へ相撲を見に行くから、一緒に行こうとお誘いを受け、一緒に結ばせていただいた私は生まれて初めて生の相撲を観戦することができ、大変感激したものである。

また、こんなエピソードもある。我々の同級生に寿山勝己（元徳山大学野球部監督）がいるが、彼の家には、一橋大学の加藤純夫さんが家庭教師をしながら、泊まっておられた。後に加藤さんは、三菱重工に入社され、研修で二年位広島に来られたらしい。当時寮生活で知り合いもなく行くところもなく時々寿山の家を訪れ、それが縁で、その後寿山の妹さんとめでたく結婚されたとのことである。これも、一橋大・広島野球部の交流が吉家家で生まれた、ほほえましい出来事である。

このような一橋大学野球部の方々との三十年以上もの交流も、島山先生が広島野球部の監督を上げて次の年、一橋大学に長期研修に出られた時、一橋大学野球部の指導をされたのがきっかけであると聞いている。新田さんもこのよう

に言われている。「島山先生が一橋大学野球部の指導中、亜細亜大には広島から進んだ山本和行投手（元阪神）がエースで、このチームと互角には対戦したり、東京大学と接戦したり、指導の仕方で一橋大もやれるという自信をつけて下さったことが、現在まで交流し続けている原動力である。」と。広島ではこの交流が「野球部員の進路保証の一環として採用されたもの」と聞いているが、四年生大学へ進学して野球を継続することを希望する者が多い広島だけに、他校にない素晴らしい実績をもった交流が今も続いている証であると思っている。

昭和四十五年から両校の正式な交流が始まって以来、卒業後もこのように色々な形で交流が続いているが、広島野球部が存続する限り、「一橋大学の「知」と、広島野球部の「技」が相まって、卒業後も社会に根をはって活躍し、この交流が続けられるように、心から願っている。

今月も一球通信をご覧頂き、誠にありがとうございます。

12月よりOB会費のご協力をお願いしておりますが、今季もお力添え頂き誠にありがとうございます。ご多忙のところお時間を割いて頂き、訪問させて頂いた皆様からは、当時の話や現チームへの助言、現在のお仕事の話など様々なお話を伺うことができ、大変良い機会となりました。今後もぜひ直接お伺いできたら幸いです。

今月29日からはいよいよオープン戦が始まります。部員が増えている中、天候等で試合中止にならずになるべく多くの選手が冬の成果を確認できる3月になれば、と思います。次回の一球通信では選手紹介を掲載予定です。

今後とも硬式野球部へのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2年マネージャー

浅川彩音

---

一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら↓

<http://jfn.josuikai.net/circles/sports/hit-u-bbc/>

↓ご意見・ご要望・配信停止等のご連絡等はこちらまで↓

[hit.u.bbc.mg@gmail.com](mailto:hit.u.bbc.mg@gmail.com)

硬式野球部ホームページ OBOG ページ パスワード

hitbbc